

アケビア®エキス BG 〔医薬部外品添加可能成分〕

アケビの茎から抽出した新しいコンセプトの保湿エキス

新機能性植物由来保湿エキス “尿素” 産生促進成分

表皮細胞による天然保湿因子の一つである尿素的産生を促進し、
肌の内側から保湿性を保ちます。



アケビア®エキスBG の起源

アケビアエキスBGは、アケビ *Akebia quinata* Decaisne またはミツバアケビ *Akebia trifoliata* Koidzumi(Lardizabalaceae)のつる性の茎から水にて抽出して得られるエキス(モクツウ抽出液)と旧化粧品原料基準記載成分1,3-ブチレングリコールの混合物です

木通(生薬)とは

薬用部位 ; 茎、花のある時期に皮をつけたままの 蔓性の茎を採取し、輪切りにして陽乾したもの。

有効成分 ; サポニン(アケボシド)、タンニン、ステロール類

(スチグマステロール、 β -シトステロール
及びその配糖体、ベツリン)、カリウム塩

薬 効 ; 消炎、利尿、鎮痛薬、関節リュウマチ、
神経痛、月経不順に用いる。

* 日本薬局方に収載されています。

薬効は生薬として…
(化粧品の効果としては訴求できません)

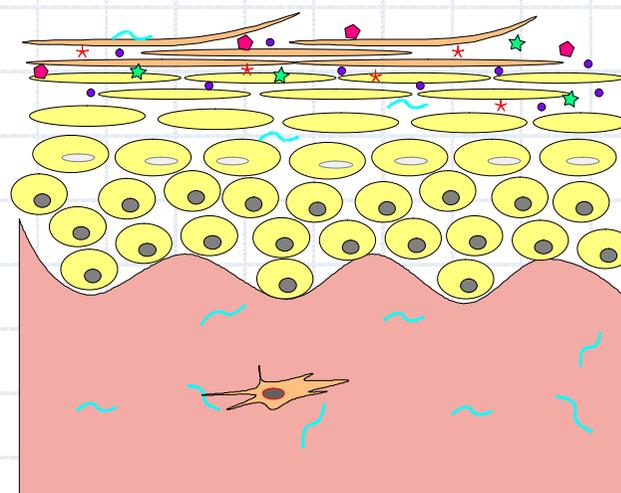


保湿に対する新しいコンセプトの提案



角質層には尿素をはじめアミノ酸やピロリドンカルボン酸などの天然保湿因子(NMF)が存在し、皮膚の潤いを保っています。中でも尿素は高い水分保持機能だけでなく角質溶解剥離作用、角質柔軟化作用のある成分で、加齢とともに減少すると言われています。

アケビアエキスBGは表皮細胞の尿素の産生を高める作用があり、みずみずしく活力のある素肌に導く新しいコンセプトの保湿成分です。

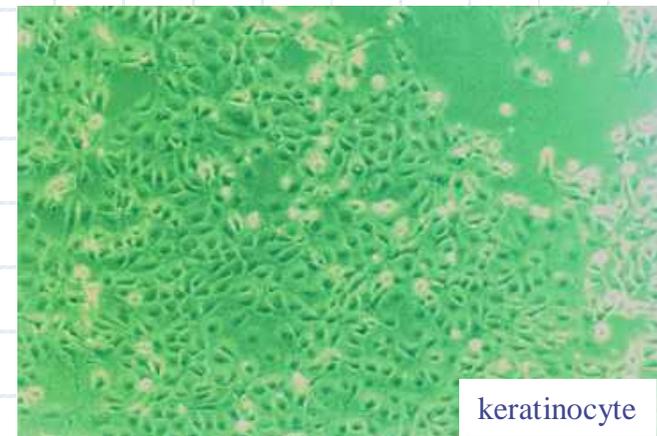
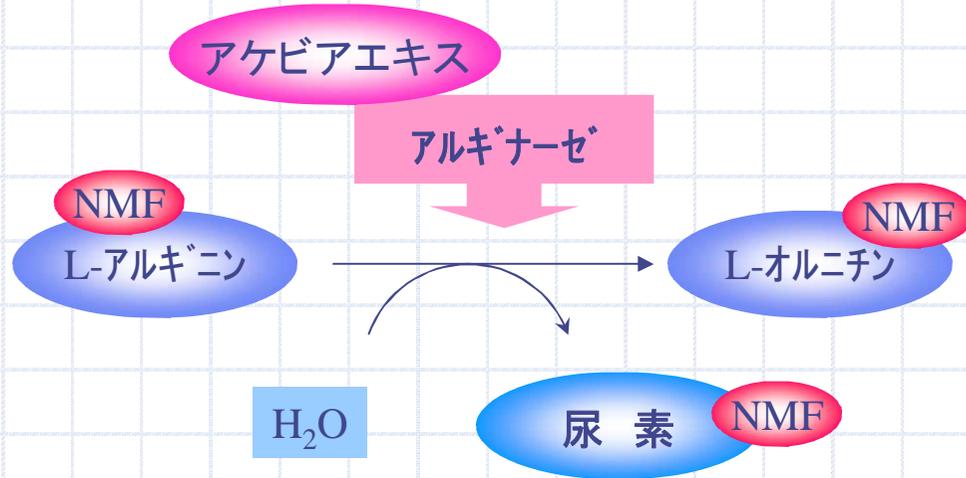


NMF 天然保湿因子

●	アミノ酸	40%
◆	ピロリドンカルボン酸	12%
★	乳酸塩	12%
*	尿素	7%
~	ヒアルロン酸	

アケビア®エキス BG の作用機構

アルギナーゼはアルギニンを加水分解してオルニチンと尿素を産生する酵素です。
アケビアエキスは表皮細胞に働きかけてアルギナーゼ活性量を上昇させることで尿素の産生を促進することで皮膚の保湿効果を高めます。
また、イムノブロット法によりアルギナーゼの解析を行った結果、アケビアエキスはタンパク発現量のレベルで酵素量を増加させる作用を持つことが確かめられました。



表皮内の酵素“アルギナーゼ”による“尿素”産生機構

アケビア®エキス BG の特徴

- **新しいコンセプトの保湿エキスです**

アケビアエキスBGは、表皮ケラチノサイトに働きかけて“尿素”の産生を促します。皮膚の外側からうるおいを与えると同時に、肌の中で“尿素”を産生する力を高めることで、みずみずしく若々しい肌にすることが期待できます。

- **有用な成分が含まれています**

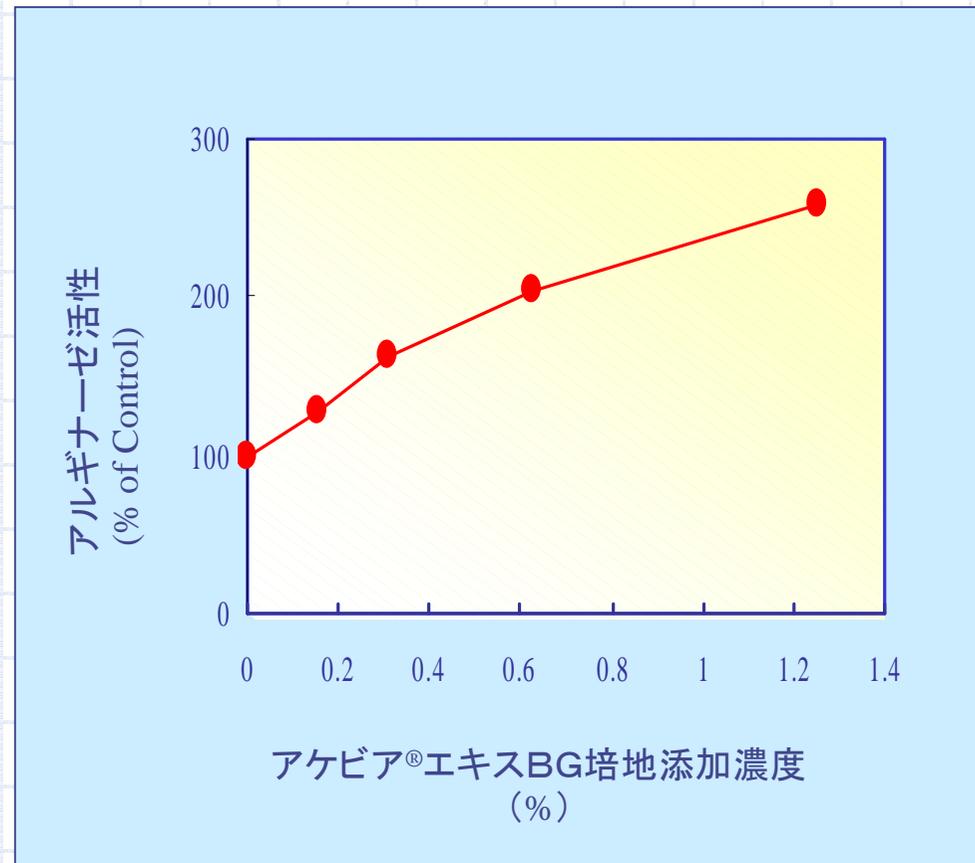
サポニン(アケボシド)、タンニンを含有しています。

- **安全性を確かめたエキスです**

新規原料安全性試験9項目実施済み

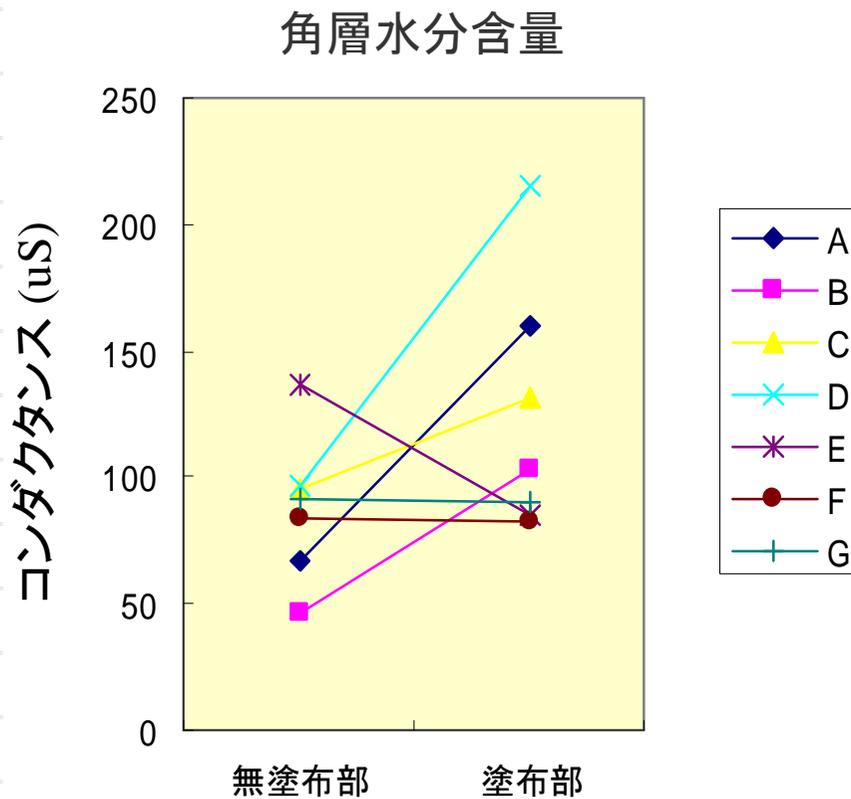
- **日本油脂オリジナルの機能性成分です**

アケビア®エキス BG による アルギナーゼ活性の上昇

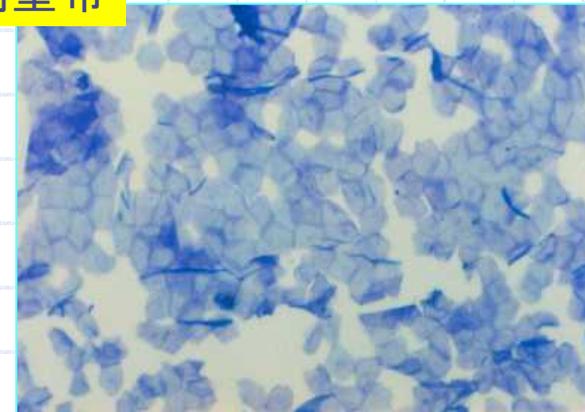


培養ヒト正常ケラチノサイトにアケビアエキスBGを各種濃度で添加し4日間培養後、細胞内のアルギナーゼ活性を測定した

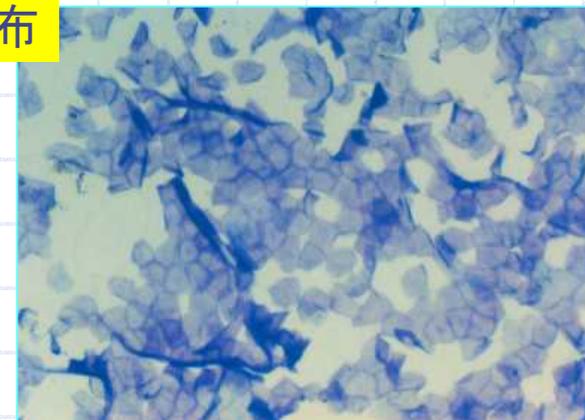
アケビア®エキス BG 配合クリーム の 評価



2週間塗布

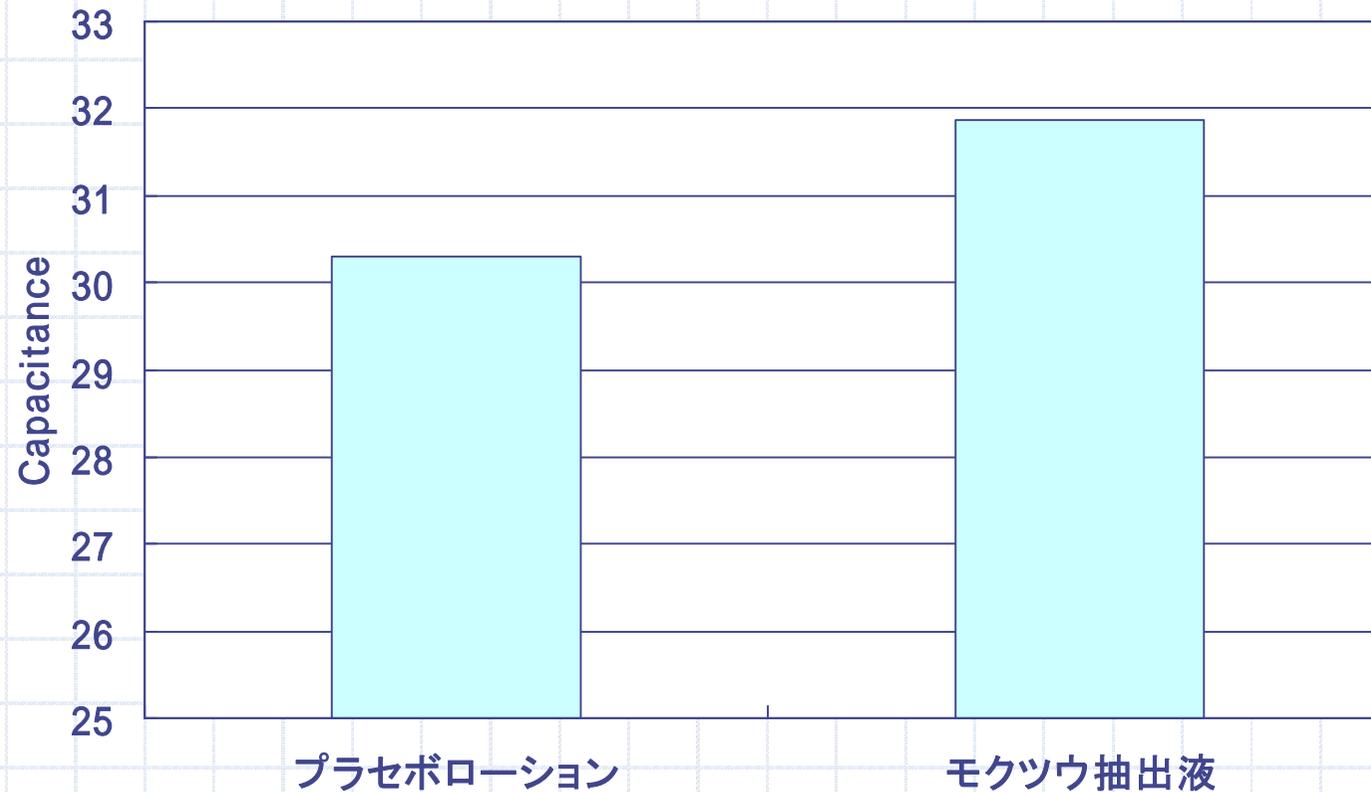


無塗布



1%アケビアエキスBG配合クリームを2週間にわたって7人のボランティアの前腕内側に適応した。角層水分含量を測定(SKICON-200)し、角層の状態を観察した。

モクツウ抽出液の連続塗布試験 (角層水分含量)



モクツウ抽出液5%を配合したローション(5%エタノール及び防腐剤を含む)を、前腕内側に1日2回、連続10日間塗布した。角層水分含量をCorneometer CM825により測定した。

モクツウ抽出液の連続塗布試験 (デジタルマイクروسコープ観察)

プラセボローション

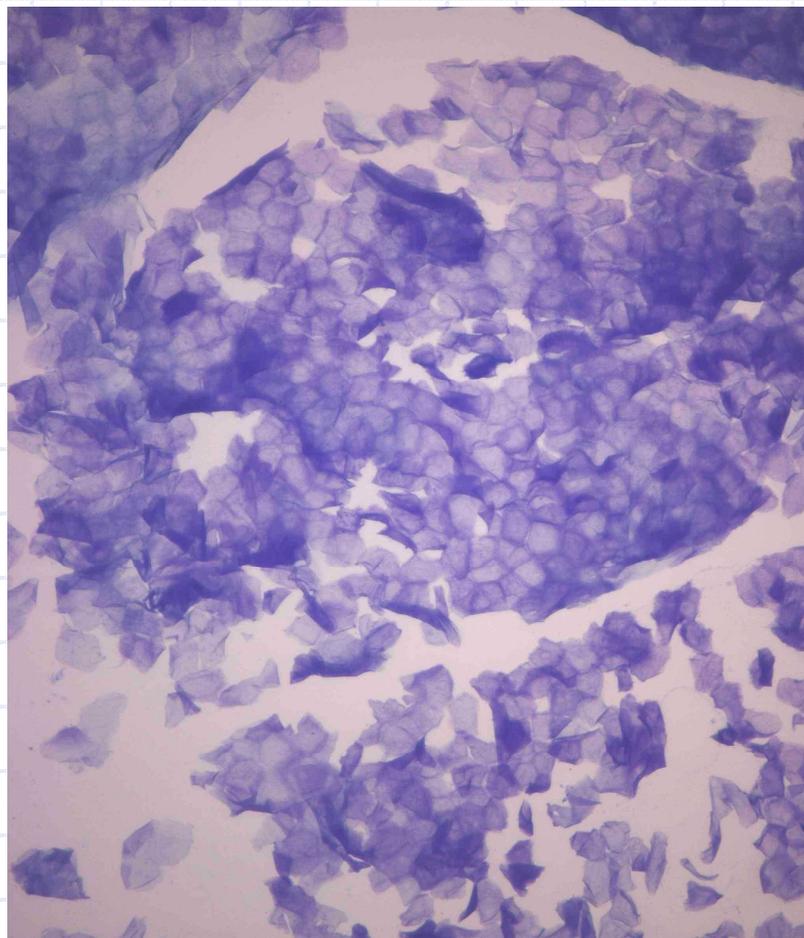


モクツウ抽出液

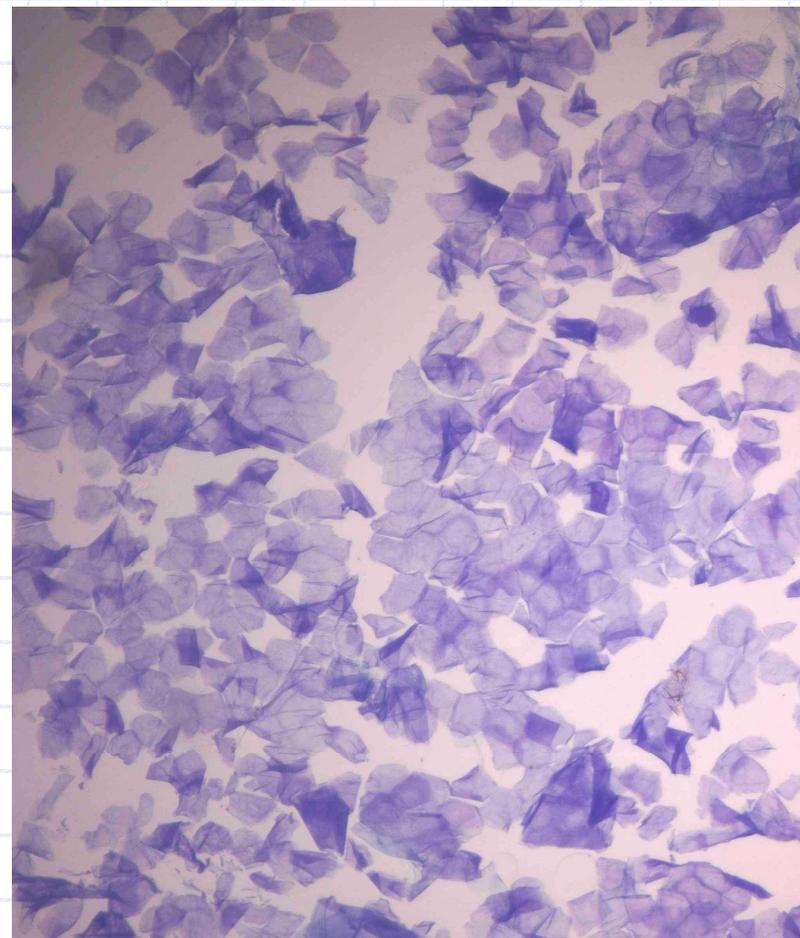


モクツウ抽出液の連続塗布試験 (剥離角層細胞診断)

プラセボローション



モクツウ抽出液



モクツウ抽出物の安全性データ

製品名：アケビア®エキスBG

本製品は モクツウ抽出液 と ブチレングリコール の 70 : 30 (w/w) 混合物です。

試験項目	試験結果	適用濃度	使用動物	動物数
1. 急性毒性試験	LD ₅₀ : 30g/kg以上 死亡数: 0/20匹	原液のまま	マウス♂♀	20
2. 皮膚一次刺激性試験	刺激反応を認めず	原液のまま	ウサギ♀	6
3. 連続皮膚刺激性試験	刺激反応を認めず	原液のまま	モルモット♀	10
4. 感作性試験	感作性を認めず	原液のまま	モルモット♀	20
5. 光毒性試験	刺激反応を認めず	原液のまま	モルモット♀	10
6. 光感作性試験	光感作性を認めず	原液のまま	モルモット♀	20
7. 眼刺激性試験	刺激反応を認めず	原液のまま	ウサギ♀	6
8. 変異原性試験	陰性	原液のまま		
9. ヒトパッチ試験	すべて陰性	原液のまま		

製品規格

製品名：アケビア®エキスBG

項目		規格値	試験方法
性状		かつ色液体	目視判定
臭い		特異臭あり	官能試験
確認試験	サポニン	界面は赤かつ色を呈する	メーカー法(1)
	タンニン	液は暗緑色～藍色を呈する	メーカー法(2)
純度試験	重金属(ppm)	20ppm	外原規一般試験法
	ヒ素 (ppm)	2ppm	外原規一般試験法
比重 (20)		0.96 ~ 1.06	外原規一般試験法
蒸発残分 (w/v%)		0.5 ~ 1.3	メーカー法(3)

- (1)本品10mLを蒸発皿にとり、水浴上で蒸発乾固し、乾固物に無水酢酸2mLを加えて溶かした後、これに硫酸1mLを穏やかに加えるとき、接界面は、赤かつ色を呈する。
- (2) 本品3mLに塩化第二鉄水溶液1～2滴を加えて振り混ぜるとき、液は暗緑色～藍色を呈する。
- (3) 本品10mLを重量既知の蒸発皿に正確に量り、水浴上で蒸発乾固し、更に残留物を105℃で6時間乾燥し、デシケーター(シリカゲル)中で放冷した後、その重量を量るとき、その残分は0.5～1.3w/v%である。

表示名称等の情報

製品名：アケビア®エキスBG

表示名称 : 水、BG、アケビ茎エキス
INCI Name(s) : WATER (and) BUTYLENE GLYCOL (and)
AKEBIA TRIFOLIATA STEM EXTRACT

成分名	成分コード 規格コード	表示名称	INCI Names	配合率%
モクツウ抽出液	別紙規格	アケビ茎エキス	AKEBIA TRIFOLIATA STEM EXTRACT	0.9
		水	WATER	69.1
1,3-ブチレン グリコール	外原規	BG	BUTYLENE GLYCOL	30.0

製造発売元 : 日油株式会社
油化事業部 H・B開発営業部
〒150-6019
東京都渋谷区恵比寿4-20-3
TEL : 03-5424-6690 FAX : 03-5424-6810

本資料中に記載の商品名は、日油株式会社の登録商標です。